

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成26年度第2回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成26年5月15日(木) 18時30分から20時05分まで			
開催場所	墨田区役所12階 122会議室			
出席者数	<p>【委員15人】</p> <p>阿久沢委員 池田委員 伊藤委員 宇田川委員 笠貫委員 久保田委員 小木曾会長 島崎委員 清水副会長 永岡副会長 野島委員 本間委員 森下会長 柳委員 横井委員</p> <p>【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	1 すみだ環境フェア2014の参加内容について 2 提言の取りまとめについて			
配付資料				
会議概要	<p>1 すみだ環境フェア2014の参加内容について</p> <p>事務局から、第2回すみだ環境フェア準備会での検討結果について報告があり、参加内容について意見交換を行った。</p> <p>(第2回準備会での決定内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境マップの本体は、白地図(A0サイズ)を使用する。 2 すみだ環境の共創プランに掲載されている主な施設を、環境マップに落とし込む。 <p>【主な意見等】</p> <p>環境マップは、点で捉えるのではなく、線で捉えた方が良い。作成にあたっては、理念がぶれないこと。マップは、どこで、誰に、何を、どのように伝えていくのか、という視点で作成する。押さえるポイントは、昨年のすみだまつりでアンケートを実施したが、区民の方にすみだ環境の共創プランを理解してもらうため、プランに拘る必要がある。環境マップに落とし込むものは、ふれあい館、緑と花の学習園、親水公園、スカイツリー等、プランにある環境関連施設等を中心に載せる。環境というと、自然や河川等、色々思い浮かぶと思うが、プランにあるものを中心とする。キャッチフレーズは「すごい!!すみだ」ということで、墨田区の環境に対する取組みはすごいんだということ、驚き、感動を持って理解して貰えるようにする。</p> <p>本日は、事前作業として、白地図に何を落とし込んでいくのか、決定をしたい。</p> <p>白地図に、川、道路、線路等、基本的な場所に色付けをした方が分かりやすいという意見があった。</p> <p>A0サイズより、エリアごとに拡大したものを、何枚か用意した方がよい。</p>			

白地図を使って何をさせるのか。大きな白地図では、少人数しか対応できない。A4 程度の紙を使い、ぬり絵の方式にしてはどうか。

A0サイズの白地図に施設を落とし込んで、プランに掲載されている施設を少しでも理解してもらうことが一つ。また、A4サイズのぬり絵の方式で、子どもたちにプランに掲載されている施設を理解してもらうことも一つの方法だと思う。

子どもたちに A0サイズの白地図に直接記入させては、時間も掛かり、すぐ一杯になってしまう。完成したものを作っておいて、A4サイズの紙に記入させた方が良い。

A4サイズの紙に記入させた方が簡単に済む。

当初考えたことは、目印として学校のマーク、向島百花園、スカイツリー等を付けることだった。白地図を使って、施設がどこにあるのか、双方向のコミュニケーションで、理解してもらう。たとえ人数が少なくても、しっかり理解してもらえば良い。その地図を毎年使う。

自分の家の場所にシールを貼らせてはどうか。街歩きの第一歩になる。

自分の学校にシールを貼らせた方が、親しみが湧く。

A0サイズの白地図を使うのか、A4サイズの紙を使うのか、大きく違ってくる。

小学校が地図の中心にあると、子どもたちも興味を持つと思う。A0サイズの白地図を分割したものを拡大して使った方が良い。自分の家の周りから理解してもらうことが第一歩だと思う。

誰を対象にするか、小学生が対象だと思う。

当初、防災地図も候補として考えた。地図には、避難所として多くの小・中学校が記載されている。ただ、サイズが小さいため、候補から外した。

対象を小学生とするならば、小学校が中心の地図が良い。墨田区の全容を知ってもらうために、参照地図として生きものマップ、ハザードマップ等、を一緒に展示してはどうか。そして、A4サイズの地図に小学校を中心に、周辺の施設を落とし込んでもらう。

地図は、用途によって縮尺が違ってくる。ごみの集積場を地図に落とし込もうとすると、1/500 の縮尺の地図となる。A0サイズの地図を使った場合、できること、できないことがある。A0サイズの地図に何が表現できるか、或いは、誰に何を伝えるのかによって、やることは違ってくる。今回は、A0サイズの白地図に何が落とし込みできるか、考えていけば良いと思う。来年以降、また検討していけば良い。

準備会では、対象を小学生とする意見は出なかった。ただ、学区域は駅や鉄道等の影響で変形した形となっている。また、学区域ごとの地図となると、小学区で25もある。

地図はあくまでも概略を標記するものであって、A0サイズの白地図では、家の形は落とし込めない。

事務局で、1/2500 の都市計画図を用意できないか。それが用意できれば、やりたいことに大きく近づく。計画を立てるときは、1/2500 の地図を使う。

地図の大きさは A0サイズの白地図で充分だと思う。テーマが幾つかあるので、テーマごとに地図を作れば良い。子どもたちにやる気を起こさせる仕組みを作れば良い。

誰に、どこで、何を、どのように伝えるのか、ここをしっかりと押さえないと、まとまらない。対象を小学生とする考えが、共有化されつつあると思う。環境フェアに参加する目標は、プランにある環境に優しい区民を育てることにある。子どもたちに墨田区の環境を理解してもらうための道具として、この地図を使っていけば良い。地図には、プランにある雨水、

リサイクル、ごみ、親水公園、ふれあい館、スカイツリー等の施設を落とし込む。これだけでも7・8個になる。これらを地図に落とし込んで、コミュニケーションを図り、理解を深めてもらう。

小・中学校が地図に書いてあれば、位置関係は理解できる。

白地図から場所を特定することは、かなり難しいと思う。環境フェアは、すみだまつりほど子どもは来ない。今回行なうことによって、大人用の説明、子ども用の説明が分かるのではないかと思う。今回は、ふれあい館の場所を知ってもらえれば、それで良いと思う。

施設を説明するとき、循環バスのルート図を用意した方が良い。

緑の講習会等でも、緑と花の学習園は分かっても、ふれあい館の場所を知らない人が多い。

環境フェア当日、ふれあい館のブースに大きな地図を出してもらえると良い。ライオンや花王にも地図を出してもらえると良い。各ブースに施設の地図を出すようにした方が良い。そこにふれあい館を落とし込んでもらえると尚良い。各施設の連携にも繋がる。

白地図には、主な施設の概略を載せる。具体的には、次回の準備会で検討し、定例会に提案させていただく。対象を小学生という意見が出ましたので、良い意見については、取り入れていく。

また、ふれあい館について、5月から7月まで、毎月最低1回、施設を見学するよう、再度、願います。

第3回準備会:5月28日(水)午後6時30分から 区役所2階 22会議室

2 提言の取りまとめについて

会長から、提言の取りまとめについて、テーマ、方法等について説明があった。

(提言の取りまとめについて)

区民・行政に対する提案の取りまとめを行う。

・テーマについて

緑、ごみ、水

・検討方法

分科会形式

【主な意見等】

墨田区の緊急課題は、基本目標1にある、安心して安全なまちづくりだと思う。東南海地震等が叫ばれる中、墨田区では耐震対策が北部地区で遅れている。地震に伴う火災が一番心配である。昔、防火用水として雨水を利用していた。また、最近、燃えない建物が現れ、火災に対する関心が薄れてきた。そこで、安心して安全なまちづくりという概念を基に、緑・ごみ・水について、提言の取りまとめを行ってはどうか。

基本目標1～5を全てやっているとはとまらない。そこで、笠貫委員の意見にある、安心して安全なまちづくりをテーマに、緑・ごみ・水について、環境を考えてみてはどうか。

安心して安全なまちづくりという大テーマの下、緑・ごみ・水について、提言をまとめる。なお、話し合いは、分科会形式で行う。

	<p>班分け(:リーダー、 :コーディネーター)</p> <p>1 緑 本間委員、 森下委員、 島崎委員、 鈴木委員、 柳委員、 横井委員</p> <p>2 ごみ 佐野委員、 野島委員、 池田委員、 伊藤委員、 久保田委員</p> <p>3 水 清水副会長、 宇田川委員、 阿久沢委員、 笠貫委員、 永岡副会長、 松本委員</p>
所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463